



平成17年度水道技術者専門別研修会（機械・電気・計装設備部門）（2月13日～2月24日）

61名の参加を得て「水道概論」「機械設備」「電気設備」「計装設備」「設備更新・管理委託」について研修を実施した。

また、研修の最後に行った自由討議に於いては、活発な情報交換が行われた。

第133回水道技術管理者協議会（2月16日）

設定議題(1)配水管工事費助成制度及び給水装置工事資金融資制度の導入状況について、(2)土地区域整理事業に伴う配水管布設費用の取扱いについて、(3)浄水場内の簡易グラウンドの部外者利用について、(4)水質管理目標設定項目で目標値を上回った場合の対処の仕方について、(5)鉛製給水管更新事業について、(6)送水管の布設状況について意見交換した。

また、報告事項(1)水道維持管理指針の改訂について、(2)水道水質検査優良試験所(GLP)の認定状況等について、(3)配管設計・配水管工技能講習会の開催日程及び更新手続について、(4)日本水道協会規格の改正について報告した。

第86回経営調査専門委員会（2月21日）

人事異動により委員長・副委員長が不在となっていたため、事務局の進行により議題①「委員長・副委員長の互選」を審議し、新委員長には東京都水道局主計課長の石井委員が就任し、新副委員長には広島市水道局財務課長の野津山委員が就任した。

その後、新委員長の進行により議事に入り、議題②「水道事業体における『品質確保に関する調達方式』に関するアンケートの実施」及び議題③「『水道関係判例集』の改訂」について、それぞれ審議を行った。議題②のアンケートの実施については、一部修正を行い3月中に実施すること、議題③の水道関係判例集の改訂については、平成19年末を目途に改訂作業を進めることに決定した。



東京都水道局
石井委員長



広島市水道局
野津山副委員長



第83回 機械・電気・計装専門委員会（2月22、23日）

「水道設備（機械・電気・計装）実務マニュアル」の原案作成、構成、記述内容及び実務マニュアル用ノウハウ等について審議した。

第840回会誌編集委員会（2月24日）

本誌の5月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

第57回全国水道研究発表会論文審査等合同会議（2月27日）

本会議では全国水道研究発表会について、発表論文の審査、分野別の会場割り付け、座長の推薦等のプログラム編成を行っており、本会の事務・工務・衛生常設調査委員会の推薦者、学識経験者、並びに会誌編集委員会の推薦者を集め年に1回開催されている。

今年度の発表論文について審議した結果、過去最高の365編の発表が行われることとなった。



眞柄委員長

茂庭副委員長



第24回 ISO 審査登録センター・判定委員会（2月28日）

前回議事録の確認後、五月女設備工業(株)の更新審査について審議し、適合と判定された。

第14回 給水システムにおける水量管理に関する調査専門委員会（3月9日）

水道メーター等の計量法（省令）改正と JIS 化に伴う水道事業者の対応として、「水道メーター選定の手引き」（案）の最終原稿について審議した。

第18回 給水装置に関する規格専門委員会（3月15・16日）

（議事：水道用ステンレス製サドル付分水栓等 2 回目の審議、）

今回は、従来形サドル付分水栓と同時に検討を行うこととした「スライド式サドル付分水栓」についての製造工程立会、製品についてのヒアリング、性能試験立会の一部を行った。

第596回抄録委員会（3月13日）

東京都水道局朝霞浄水場で会議を開催した。水道施設視察を通じ、委員会審議の参考とするため午前中浄水場施設を視察した。初めに、東京都水道局朝霞浄水管理事務所の増子所長より視聴覚機材を通じての朝霞浄水場概要並びに実験を通じた水処理について懇切丁寧な説明を受け、その後浄水場の諸施設を視察した。午後より、浄水場の会議室において第596回抄録委員会を開催した。審議事項については、本誌6月号に掲載する抄録の内容について審議した。

